

# 大震災・復興ニュース(第44報)

平成24年2月16日  
仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

### 復興庁が発足

平成24年2月10日,東日本大震災からの復興施策を統括する復興庁が発足した。同庁設置に伴い,盛岡,仙台,福島で,現地対策本部が改組した常勤30人・併任非常勤70人規模の復興局の業務が開始された。

復興局では,被災自治体からの要望や相談の一元的な窓口や復興特区・復興交付金の関係業務を行う。また,県内では気仙沼と石巻に支所が開設され,被災市町村との連携強化を図ることとなっている。

### 宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物について,下記のとおり放射性物質の測定結果をお知らせします。

- 測定年月日 平成24年2月8～14日
- 測定分析機関 宮城県農林水産部,(財)日本冷凍食品検査協会,いであ(株),東北緑化環境保全(株),(株)総合水研究所

水産物(漁獲日 平成24年1月22日～2月9日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
キタムラサキウニ	石巻市雄勝地先	不検出	スケトウダラ(稚魚)	宮城県沖	0.9
わかめ(養殖)	石巻市雄勝地先	不検出	スケトウダラ	宮城県沖	9.8
アカガイ	蒲生沖	不検出	マイワシ	三陸南部沖	1.87
マコガレイ	宮城県沖	4.5	キチジ	宮城県沖	不検出
アイナメ	宮城県沖	5.9	マダラ	宮城県沖	3.5
ババガレイ	宮城県沖	2.5	スルメイカ	三陸南部沖	不検出
マダラ	宮城県沖	15.9	ヒラメ	宮城県沖	19.3
イラコアナゴ	宮城県沖	不検出	マコガレイ	宮城県沖	5.9
ヒモダラ	宮城県沖	不検出	スケトウダラ	宮城県沖	19.1
キチジ	宮城県沖	不検出	キハダマグロ	太平洋沖合	2.24
マコガレイ	宮城県沖	3.9	マカジキ	太平洋沖合	不検出
イヅイアケメ(ドンコ)	宮城県沖	4.5			

放射性物質の値は漁獲日における値を示す。

食品衛生法の規定に基づく食品中の暫定規制値

放射性セシウム 500ベクレル/kg

## 2 管内の復興に向けた動き

### 災害復興に向けた第三回打合せ会開催

2月21日(火)午後1時30分より仙台地方振興事務所水産漁港部会議室において,管内漁協各支所長等を集め,情報交換と二次補正の進捗状況及び三次補正の今後の進め方についての打合せ会を開催予定。

## ノリの入札状況

2月13日(月),第6回のノリ入札会が県漁協塩釜総合支所の乾ノリ集出荷場で開催された。

・今回の結果は以下のとおり。

数量：12,455千枚(前年同期の43%),金額：112,605千円(前年同期の49%)

平均落札価格：9.04円/枚(前年同期の114%)

最高値：七ヶ浜支所産21.50円/枚

・累計結果は以下のとおり。

数量：57,762千枚(前年同期までの24%),金額：654,253千円(前年同期までの31%),累積平均単価：11.33円/枚(前年同期までの130%)

・現在の海苔の生育状況としては、漁場により栄養塩不足による色落ちが続いている。

## 平成23年塩釜市魚市場の水揚状況

塩釜市魚市場の平成24年1月の水揚は、数量で1,225トン、金額で552,653千円となり、前年同月比数量で180トンの減、金額で100,545千円の減となった。

月	平成24年		平成23年		対比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1	1,225	552,653	1,405	653,198	87%	85%

主な漁業種類はまぐろ延縄,その他刺網,せん漁業(かご等)であり,若干のタコの水揚増があったものの,まぐろ延縄でのキハダマグロの割合減,陸送による加工用冷凍スケトウダラの上場減により,合計数量・金額とも前年同月より減となっている。

## <トピックス>

### (株)佐浦がフォークリフトを寄贈

浦霞で有名な(株)佐浦が県漁協宮戸支所に対し,2.5t積みフォークリフト1台を寄贈した。

これは(株)佐浦による浦霞1本の売り上げから5円を地元塩釜市と東松島市の復興のための寄付金とする活動の一環で,塩釜市浦戸支所に続いての寄付である。

フォークリフトは2月1日に搬入され,今後ノリ養殖作業等で使用される予定である。



寄贈されたフォークリフト

### 北海道の漁協等が船外機を寄贈

2月10日(金),名取市商工会館において,北海道の常呂(ところ)漁協,沙留(さるる)漁協及び仙台水産から,名取市を介して「閉上あさりしじみ漁業者の会(広瀬名取川漁協の組合員のうち13名で構成)」に対し,計8台の船外機が寄付された。

これは仙台水産仲介による三重県漁連からの漁船寄贈に続くもので,寄贈された同会では,今後寄贈された船と船外機を用い,アサリ・シジミの付加価値販売等にも取り組む予定である。

### 塩釜フード復興見本市

2月14日(火),ホテルグランドパレス塩釜を会場に,塩釜フード復興見本市が開催された。

この見本市は今回で5回目であり,33社が自慢の商品を出展した。

見本市には全国のバイヤー等約1,100人が来場し,会場のあちこちで出展者との商談が熱心に行われた。

